

ネット社会・情報社会を生きる子供たちを
育てるために
学校と家庭・地域、教育委員会が手を携えて

SNS家庭ルール 作成のお願い



平成6年10月

八王子市立第一小学校

東京都教育委員会

八王子市教育委員会

SNS東京ルール

- 子供たちが、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、SNSを利用する際のルールを策定（平成27年11月）

これまでの「SNS東京ルール」

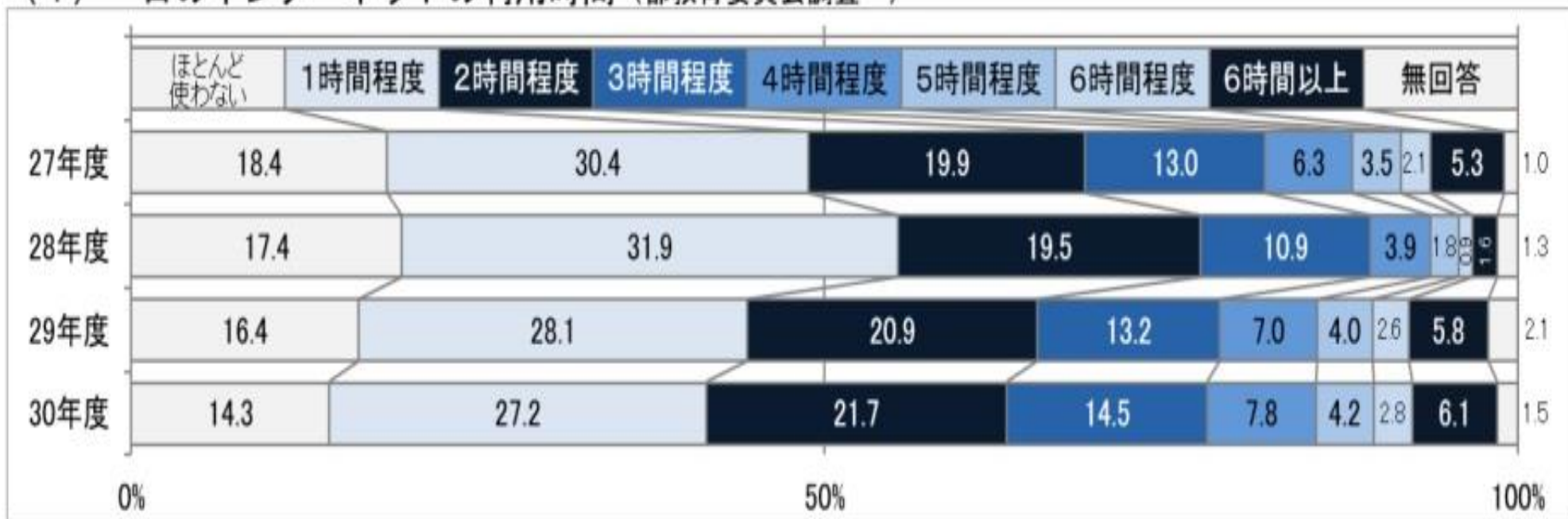
- ① 一日の利用時間と終了時刻を決めて使おう。
- ② 自宅でスマホを使わない日をつくろう。
- ③ 必ずフィルタリングを付けて利用しよう。
- ④ 自分や他者の個人情報を書けないようにしよう。
- ⑤ 送信前には、相手の気持ちを考えて読み返そう

■ これまでの成果

- ・ 家庭ルール策定状況が増加
- ・ 嫌な思いが減少

インターネットやSNSを取り巻く状況

(1) 一日のインターネットの利用時間 (都教育委員会調査*)



■ 2時間程度までの回答が減少するなど、長時間化傾向が見られます。



インターネットや SNSを取り巻く状況

(2) アプリの使用状況

(保護者にはお子さんが何を使っているかを質問)

	YouTube		LINE		Twitter		Instagram	
	児童・生徒	保護者	児童・生徒	保護者	児童・生徒	保護者	児童・生徒	保護者
小学校	81.4	87.4	37.0	28.1	6.0	1.3	7.7	2.0
中学校	90.5	88.8	80.7	80.4	32.5	20.1	27.1	19.1
高等学校	91.6	88.6	97.5	97.5	72.4	59.7	61.2	49.9
特別支援 学校	92.1	91.4	59.9	53.4	22.6	12.8	13.2	6.8

平成 30 年度調査より

単位 %

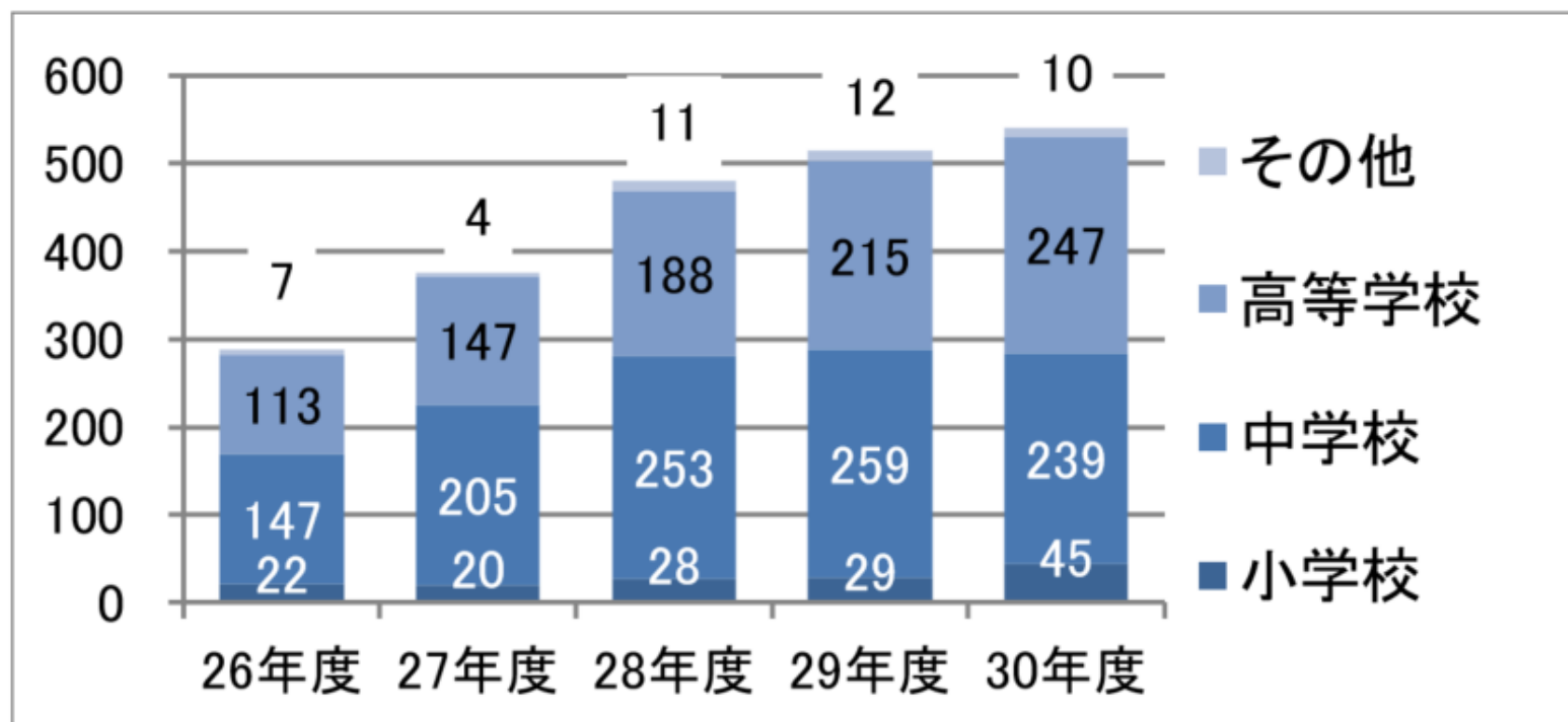
- 画像・動画を発信するアプリの利用が増えています。
- アプリの利用状況について、親子の回答に差異が見られます。



インターネットや SNSを取り巻く状況

(3) 自画撮り被害に遭った児童・生徒数の推移

(警察庁「平成30年における子供の性被害の状況」より)



■ 自画撮り被害に遭った児童・生徒は増えています。



SNS東京ルールの改訂

■ 新ルールとその趣旨について

① スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯・場所を決めよう。

ネットへの依存につながる長時間の利用を自分で防ぐようにしましょう。

② 必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。

ネット利用のための基本的なルールを徹底しましょう。

③ 送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。

ネットを通して、他の人をいじめたり傷付けたりしないようにしましょう。

④ 個人情報を教えたり、知らない人と会ったり、自画撮り画像を送ったりしない。

ネット犯罪に巻き込まれないよう、安易な発信をしないようにしましょう。

⑤ 写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。

ネットに公開した情報は削除できないという危険性を理解しましょう。

SNS家庭ルール作成のお願い

- 家庭におけるスマホの使い方を、親子で話し合って決めましょう。
- 定期的にルールを見直すなど、年齢に応じた使い方を考えましょう。

使いすぎを考える

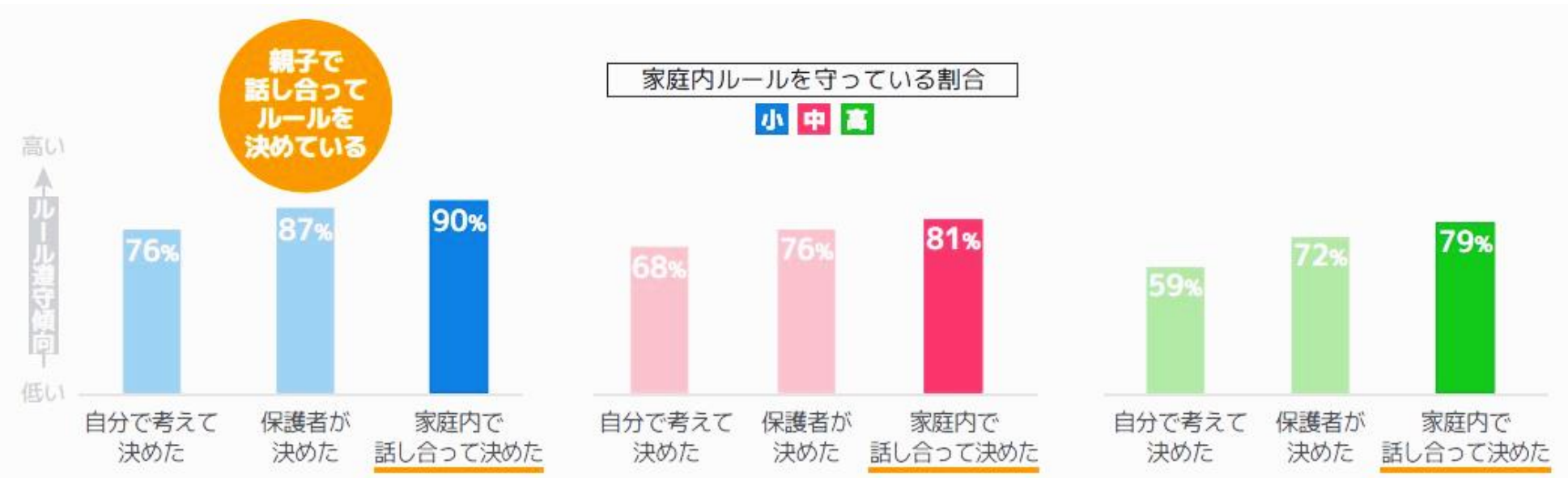
- 利用時間の限度
- 利用しない部屋
- 料金（課金）の限度
- 利用しない日

知らない人とのやり取りを考える

- メール等の相手を決める
- 個人情報を公開しない
- 有害サイトを利用しない

ルールを守れなかったときにどうするか決める

話し合いをすることで、 ルールを守る傾向が見られます。



平成30年度「青少年のネット利用実態調査」
(東京都教育委員会との共同研究に基づく) LINE株式会社

■ お子さんとスマホ・ネットのより
良い使い方について話し合ってみませんか。



SNSに係るトラブルの事例



えっ!?これがいじめなの?
ふざけただけだったのに・・・

【事例A】インターネット上のいじめ

女子児童は、不登校の児童に対し、SNSで「学校おいで」と誘った。一方で、他のクラスの仲間に「調子に乗っている」と、不登校の児童を笑いものにした。

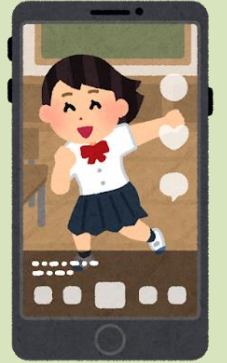


誰も分かってくれない!
ゲームだけが救い・・・

【事例B】オンラインゲーム依存

男子生徒は、インターネットをやっていると落ち着かない。家族との会話も減った。自殺願望も出てきている。最近、自分の何もかもが壊れていくように感じる。

そもそも私が送らなければよかった・・・



【事例C】裸の画像の送信

43歳の男は、女子生徒が配信していた動画を見て、女子生徒にコメントを送り、裸の映像を送るよう仕向けた。女子生徒は、裸の画像を送信してしまった。



ゲームを有利に進めたかった。
親は分かってないから
やめられなかった・・・

【事例D】インターネットでの課金

男子児童は、ゲーム機からソフトをダウンロードできることを知り、親に無断でクレジットカードを使用した。その後、ゲームソフト代金24万円を請求された。

もう、眠い。
でも、聞き逃すと仲間はずれになるから・・・



【事例E】インターネット依存

女子生徒は、SNS上での仲の良い友達と、毎日夜中でも会話をしている。相手のことが気になるので、SNSを見て安心している。保護者から注意をされているが、やめられない。

おもしろそうだったし、簡単にできたから、ついやってしまった・・・



【事例F】インターネットを介した犯罪

男子生徒は、生徒間で気軽に大麻を売買していた。インターネットでガラスパイプを購入し、同級生等から大麻を買うようになった。SNSで、「1個まいい」と伝えると、公園などで受け取った。

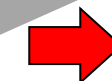
なんでそんなことを
知らない人たちに送るの!?

みんな、やってるって言うけど、
みんなって誰なの?

こんなことになるなんて



そんなことをするためにスマホを
買ってあげたんじゃない!!



最終面をご覧ください。➡

【スマホとコミュニケーションと子どもたち】

八王子市立中学校 PTA 連合会では、急速に進化するネット社会に潜む、さまざまな問題から、子どもたちを守るために何が必要なのか考え続けています。保護者向けに「スマホを置いて会話を取り戻そう」、子ども向けに「スマホとコミュニケーションと子どもたち」を作成しました。

QR コードを、掲載しましたので、ぜひご活用ください。

また、各学校の学校ホームページ「教育委員会のお知らせ」の中の「SNS に関する八王子市立中学校 PTA 連合会からのお知らせ」からご覧いただくこともできます。

八王子市立中学校 PTA 連合会 会長 後藤 貴弓

保護者向け

「スマホを置いて会話を取り戻そう」



子供向け

「スマホとコミュニケーションと子どもたち」

【保護者の皆様へ】

子どもたちを被害から守るのは 保護者の役割

役割を果たすための8つの心得

- 一 家族で楽しい時間を過ごす
- 一 子どもの話に耳を傾ける
- 一 子どもの様子をよく見る
- 一 親が使い方の手本を示す
- 一 使用目的を確認する
- 一 使用状況を確認する
- 一 家庭での使用ルールを決める
- 一 フィルタリングをかける

8つの心得

何のためにスマートフォンを
買い与えたのかももう一度お考えください。

身近にひそむ SNS の危険性

子どもたちを被害から守るのは大人

インターネットに潜む危険!!

危険①

ネットいじめ

年間

1万2632 件

「平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査 文部科学省」

危険②

ネット依存

1日10時間以上ネットを使う

1クラスに**7**人以上

(1クラス40人、休日18%との調査結果から算出。)

「平成29年『ネットとの付き合い方』青少年のネット利用実態調査 LINE 株式会社」

危険③

SNS被害

過去最多!

小学生 **1813** 人

中学生 **862** 人

「平成29年におけるSNS等に起因する被害児童の現状と対策について 警視庁」

子どもにとって寂しい時やつまらない時、不安な時、インターネットは魅力的です。楽しいことや得な話がたくさんありそうですし、話を聞いてくれる人もすぐに見つかると思う子どももいます。しかし、その裏側にはたくさんの危険が潜んでいることを、大人が子どもに伝える必要があります。

SNSに係るトラブルの事例を中面にまとめましたのでご覧ください。